# 平成27年度　第2回研修会　「先輩助産師のお話を聴く会」報告

テーマ：母・子・家族の育ちを支えるおっぱいサポート
講　師：酒匂佳子助産師
開催日時：平成27年10月14日（水）19時～20時30分
場　所：サンエールかごしま中研修室1.2
参加者：50名（会員28名　非会員18名　学生4名）

昨年に続き桶谷式乳房ケアで鹿児島の母子の育児をサポートしておられる酒匂佳子助産師を講師に招き、「先輩助産師のお話を聴く会」が開催されました。
おっぱいの視診のしかたやそこから予測しうるトラブル、産院で行う産褥期のおっぱいケアのポイント、退院後の母子へおっぱいトラブルを防ぐためのアドバイスの方法、「難しい」おっぱいの母乳育児のサポートのしかた等、具体的な事例や模型を用いながら詳しく解説して頂きました。

フロアからは普段の助産業務のなかで遭遇する「困った事例」「悩んだ事例」についての質問も多数寄せられ、それらに対し豊富な経験を基に、それぞれの産院でも実施できるケアを丁寧に回答・アドバイスしてくださいました。また、おっぱいのケアをしながら、その母子の成長や家族の絆を強くすることを大切に母子と向き合われている情熱がその言葉のひとつひとつから伝わってきました。

豊富な経験と知識、そして技をもって鹿児島の母子の母乳育児を支えてこられた酒匂助産師のお話は大変興味深く、時にはユーモアも交えながらお話しくださり、笑い声も混じりながらも明日からの助産ケアに活かそうと真剣な表情で聞き入っておられる参加者の皆さんのお姿が印象的でした。

会終了後のアンケートには「とても興味のある内容であっという間の研修会だった」「具体的な症例と対処方法が聞けて学ぶことが多くありました。また、同時に乳房・母乳保育の奥深さ、難しさも改めて感じました。」というお声や、充実した研修会であったとの感想を多く頂きました。

私自身も、酒匂助産師の知識・技術やおっぱいサポートへの情熱にふれ、助産師としておっぱいに向き合う姿勢を見つめなおし、助産ケアの向上につなげる大変よい機会となりました。
平日の研修会にも関わらず、多くの皆さんにご参加いただき、誠にありがとうございました。

（文責　竹内裕子）